
ESCAPE ! + エスケープ +

E X

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ESCAPE！ + エスケープ +

【Nコード】

N6181D

【作者名】

EX

【あらすじ】

EX初のオリジナル小説！主人公、坂口流と、謎のチビ、クマタの物語！何がおきるかは今だ不明。（笑キ

はじめに・・・

どうもEXです。

流星のロックマントライブ + α の作成時間が減り、
ついには作成不能に・・・。
本当に申し訳ございません・・・。

新しい小説の設定を立てました。

オリジナルの小説です。

この先どんなストーリーになるのかまだわかっておりませんが、
よろしく願います!!

暗闇パニック<1>

真夜中の学校：外から建物を見るだけで背中がぞつとする。
そんな中一人の少年がアル中学校の玄関前に立っていた。

「やっぱ帰ろうかなあー。」

弱音を吐く少年の後ろから、

ドゴオ！

「弱音なんか吐くんじゃねー！」

少年の肩にチョコンと、白い熊が乗った。

普通ではない。

人間の言葉を話す生き物だった。

名はクマタ。腰には拳銃やいろいろ付けている。少年の名前は坂口 流。

「だだだ、だって、クマタは恐くないの？」

「何がだ？」

クマタは普通に答える。

「夜の学校だよ！？理科室だよ？それに…」
話が言い終わる前に、

ボオッ！！

「フギヤアアア！！」

流の肩が光った。

しかしそれは、クマタが小さな懐中電灯を顔に当てて怖がらすというよくある

遊び。

ただそれだけだった。

「そんなんでビックリすんな、男だろ。」

ホワイトは男として普通のことを言った。

流も小さく頷き肩に乗っているクマタに言った。

「も、もういいよ、とにかく行こう。」

流が錆び付いた門を開けると、クマタがそれを止めるように

「何をしにいくんだ？」

ガシャァン！！

流が錆び付いた門に顔面をぶつけた。

確かに流以外誰も何も知らなかった。

「忘れ物したんだ。」

「なーんだ、それだけか。」

クマタのコメントにうんうんと頷きながら闇の中に入って行った。

第1話『暗闇パニック』 <1>
終了。

<2>へ進む……………

暗闇パニック<1>（後書き）

＋あとかき＋

『E S C A P E!』どうでしたか？

まだ第1話の途中ですね。

というかいきなり始まって「意味わかんねー!!」と思われた方も多いのでは？

第2話でちゃんと言と流とクマタの出会いを書かせていただきます！

では、これからもヨロシク願います!!

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6181d/>

ESCAPE！ + エスケープ +

2010年10月11日17時35分発行